

## 個票 8 河川周辺環境の改変を最小限に留める工法・構造の採用

〔河 2(1)①1-1、河 2(2)①1-1、河 2(2)②1-1〕

(2010年作成)

配慮の視点	種の多様性への配慮	配慮項目	野生生物の保護・保全 野生生物の生息・生育環境の保全・創出
配慮事項	希少種の保全 多様な緑地などの保全・創出 多様な水辺環境の保全・創出		
配慮事例	河川周辺環境の改変を最小限に留める工法・構造の採用		
内容	<p><b>●河川周辺環境の改変を最小限に留める工法・構造の採用</b></p> <p><b>【解説】</b>                      可能な限り改変面積を小さくするなど、現地形の保全に努めることは、在来種の保全や野生生物の生息・生育環境及び移動空間の確保につながります。現況の河川が持っている瀬や淵といった構造やその他の環境を保全し、河川改修を行うことが生物多様性の向上につながります。</p> <p><b>【具体的な工法・配慮事項】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 現況の早瀬、淵、平瀬などの構造をできるだけ確保します。</li> <li>② 中洲や湿地など特殊な立地がある場合にはできるだけ現状を保全します。</li> <li>③ 攪乱によって維持されている環境についてはその仕組みを維持するようにします。</li> </ol> <p><b>【事例】</b></p>  <p>出典：1</p> <div data-bbox="826 1267 1442 1715" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p><b>【場所】</b>                      兵庫県三田市 武庫川藍本地区周辺</p> <p><b>【環境配慮の内容と方法、工法】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 河川が湾曲していることにより、流れが緩やかで、湛水域もあり、多くの生物が生息していたので、これらの環境を保全しながら流下能力を高める工事を行った。</li> <li>・ 具体的には湛水域の保全と自然石を使った床止工や護岸工を実施。</li> <li>・ 地元住民、専門家、行政により計画が検討された。</li> </ul> </div>		
	留意点	・ 施工後は生物調査を継続的に行い、問題があった場合はその原因を予測し、問題解決を行う、順応的管理を行っていきます。	
参考資料	1 「武庫川藍本 日出坂洗い堰 環境に配慮した床止工と多自然型川づくり」 日出坂せきもりの会・阪神北県民局三田土木事務所		